

ビジョンが導く人生

使徒の働き11章19-26節
2011、5、22 HKJCF

I 概要

- 1、アンテオケ教会から学ぶ
- 2、ビジョンが導く人生
- 3、私たちへの適用

II アンテオケ教会から学ぶ

- 1、発想の転換(パラダイムシフト) 使徒11:19-21
 - ①伝道の対象
 - ②救いの原理
 - ③発想の転換と失敗する自由⇒大きな祝福
- 2、牧師と信徒の協力:22-26a
 - ①信徒の主体性
 - ②牧師の指導
 - ③聖書による信徒訓練⇒モデル教会

III(続)アンテオケ教会から学ぶこと

- 3、弟子の意味の深化:26b
 - ①イエス様のためにではなく、イエス様の様に生きる⇒What would Jesus do?(in my position.)
 - ②愛に生きるクリスチャン(キリスト者)=小キリスト⇒愛は(全ての)律法を全うする:ガラ5-14
 - ③愛が大きく働く教会
⇒愛のサイズに比例する成長(神と人を愛するのを止めるのはクリスチャンを止める時)

IVビジョンが導く人生

- 1、ビジョンとは? ⇒神の計画による未来像
- 2、教会のビジョンの共通原則
 - ①天国の人口を増やす(伝道・礼拝・交わり)
 - ②主の弟子、愛の人へ(成長・奉仕・人生の完成)
 - ③教会(セル)が教会(セル)を産む(増殖・宣教)
- 3、個人のビジョンと教会のビジョンの関係
個人のビジョン⇒教会のビジョン⇒個人のビジョン
:相互関係による成長、人生の完成、天国の実現

V 適用

- 1、個人のビジョンを発見する
 - ①夢 ②信仰 ③性格 ④情熱 ⑤賜物(喜び、結果、評価)⑥経験(学び、仕事、出会い、奉仕、教会、成功、失敗) ⑦成育歴と家族関係 ⇒あなたの5-10年後の、人生のビジョンは?
- 2、教会のビジョンを理解する
 - ①目的志向の教会②動力は礼拝とセル③人々(家族・友人・地域)の必要に仕える奉仕
- 3、教会のビジョンに参加
⇒①賜物を活かす ②ビジョンによる互いの成長